



タイトル「**2025年度シラバス**」、フォルダ「**大学院連合教職実践研究科-学校臨床高度化系（2022年度～）**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	教職員の意識と成長				
編集担当教員	水本 徳明				
担当教員	水本 徳明				
クラス	－	開講学期		対象学年	
曜日・時限		講義室		授業形態	
単位区分		単位数	0		
備考					
授業の概要	教職員個々の力を引き出すリーダーシップの育成を目指して、教職員に対するインタビュー調査を実施することを通じて、教職員の意識を理解し、その成長を促すための理論と手法を学ぶ。				
授業の到達目標	①今日の教職員の意識と成長の課題について説明できるようになる。 ②教職員の意識と感情に注目して、教員の成長を促すリーダー行動を考えることができるようになる。 ③質的データの分析、解釈の手法を理解し、基礎的な技法を習得する。				
授業計画	回	内容			
	1	【インタビュー・データの考察①】一人の小学校教員のインタビュー・データを読み込み、そこから何が明らかになるかを検討する。			
	2	【インタビュー・データの考察②】一人の中学校教員のインタビュー・データを読み込み、そこから何が明らかになるかを検討する。			
	3	【学校経営の質的調査の意義①】学校経営の質的調査の意義について考察する。			
	4	【学校経営の質的調査の意義②】教職員の質的データを得る調査手法について学ぶ。			
	5	【学校経営の質的調査の意義③】質的調査の実施とデータ分析の方法について解説する。			
	6	【インタビュー調査研究計画の作成①】共同研究の実施に向けて、研究目的について受講生の希望を出し合い、検討する①研究目的～なにを明らかにしたいか ②インタビュー対象者～誰を対象にするか ③インタビュー内容～何を訊くか			
	7	【インタビュー調査研究計画の作成②】共同研究の実施に向けて、調査対象者を検討する。			
	8	【インタビュー調査研究計画の作成③】共同研究の実施に向けて、インタビュー内容を検討する。			
	9	【インタビュー調査研究計画の作成④】共同研究の実施に向けて、研究計画を完成させる。			
	10	【調査結果の分析①】小学校の調査結果を報告し、検討する。			
	11	【調査結果の分析②】中学校の調査結果を報告し、検討する。			
	12	【調査結果の分析③】全調査結果を比較検討する。			
	13	【調査結果に基づく考察①】全調査結果を踏まえて、教職員の成長の課題を考察する。			
	14	【調査結果に基づく考察②】全調査結果を踏まえて、教職員の成長を促すリーダーシップについて考察する。			
15	【調査結果に基づく考察③】調査結果を踏まえて、今後の研究課題について考察する。				
テキスト・参考書	[テキスト]使用しない [参考書] 佐藤郁哉 2002 『フィールドワークの技法』新曜社 秋田喜代美・恒吉僚子・佐藤学（編）2005『教育研究のメソッドロジー 学校参加型マインドへのいざない』東京大学出版会				
自学自習についての情報	調査の企画アイデアを考える。インタビュー調査を実施し、テキスト化し、分析してレポートを作成する。				
授業の形式	講義・演習				
アクティブラーニングに関する情報	共同討議を通じてインタビュー調査を企画し、その結果について検討する。				
評価の方法（評価の配点比率と評価の要点）	調査レポートについて、データ収集および分析の妥当性、信頼性および考察の適切性の観点から評価する（100%）				
その他（授業アンケートへのコメント含む）	特記事項無し				
担当講師についての情報（実務経験）					



Copyright(C) 2012 NTT DATA KYUSHU Co.,Ltd All rights reserved.